

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2/17)

文・写真：武田、写真：倉谷、福西、山 國

日 時：2019(平成 31)年 2 月 17 日(日) 9:30～1400

気 象：天候=晴、昼前に雪少々

活動エリア：「45 林班ろ-03」(人工林)、

活動内容：林床整備・枯損木などの除伐、作業道整備

参加者：(会員)石原順子、泉家恵子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山邦雄、後藤和子、杉本佳英、武田壽夫、

福西勇之助、宮本 廣、茂木完治、山田真也、山 國、若林朋世 (会員 15 名)

(体験)梶谷恵子、後藤健治、立野里織、中嶋由利子 (体験 4 名)

計 19 名

* 茂木・若林両会員と体験組は午後の参加

<画面からはみ出そうな集合写真>

昨年末に続き参加者 19 人の大賑わい、体験参加の方々は、午前には茂木会長の引率で沢登り訓練、午後に合流する。

作業内容は①「45 林班ろ-03」の南斜面一帯での林床整備と作業道の延伸、並びに② 4 ヲ所のモニタリング調査区の現況確認、これは毎年の整備進捗報告を求められているもの。午前からの作業組 13 人中 10 人は「45 林班ろ-03」の人工林へ、調査区の現況へは 3 人が赴く。少し雪は通って行ったが、微風、お日さまも顔を出しマズマズの「作業日和」である。

<今日の成果>

【林床整備組：山國会員の印象記から】

『今回は少しハードな感じでしたが、人数が多いと広範囲がカバー出来て、良いですね。又、各人が思い思いの作業をしているのに、伐倒の時は声かけもナシで危険範囲から移動したり、見張りに行ったりしていて、まとまり感が凄く良かったです。でも、作業手伝いを呼ぶとき＝自分に出来ない作業の時は、しっかり人集めの声かけしてた様に思います。なんか、良い物見た感じ』とのこと。

印象記からは以心伝心の作業ぶりで山が活き返っているかのようで、その様子は写真をご参照。斜面の林床は 50m × 10m × 3 班 ≒ 0.15ha、作業道は溪までに残っていた 10m を整備(これで尾根の里道まで全通)

【調査区現況確認組】

一日かけて「44・45 林班」各 2 ヲ所の調査区を一巡、定点観測用の写真を撮り、樹木数をカウント。根起しや大きく曲がった木々など台風の傷みを語る場所、また、誤って間伐されてしまった場所もあったが、台風禍はともかく、2 年目としては「頑張った」と言えそうと自画自賛。大きく被災していた「44-に」では倒木の枝処理にも取り組み。

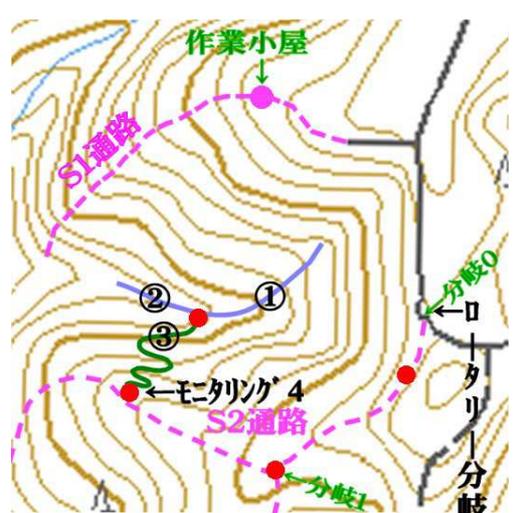
<山だより>

谷に散見した石垣を辿って出会った砂防堰堤と活動地で拾った落し物(皆さんも要注意)

①前代未聞”19人の勢揃い”



②活動地要図(①②③付近が作業場所)



③これだけ大人数の作業は圧巻!の一語



④スッキリした斜面を見上げる



⑤中折れ木の除伐



⑥左の作業後



⑦路肩補強の杭打ち



⑧全通させた作業道を踏んで帰る



⑨「44-ろ」の調査区



⑩「44-に」の調査区(曲った木と根起し)



⑪苔生した砂防堰堤



⑫森の落し物(他に飴の袋、ふプルタブ、マスクも)

